

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名 グループホーム杜の小径

作成日: 令和 6 年 7 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	つなぎ服の着用が常態化しないよう、家族には書類を作成し説明と確認を行い、介護計画の取り込んではいかかがか。	事務所として身体拘束排除宣言しているの で、今後ともに身体拘束は行わない。	身体拘束をやむを得ず行う場合においても、ご 家族の同意を得て行う。	6ヶ月
2	10	家族の思いを引き出す方法として、家族にお願い できることはないか、事業所からアプローチし てみてはいかがかがか。	家族も介護の輪に加え、一つのチームとし ての介護を目指していく。	日常の事を電話連絡やお手紙などで定期的 にお伝えし、面会の際にも、一緒に介助を行っ てもらう。	6ヶ月
3	35	利用者の予想外の行動に対応できるよう、職員 が避難技術を習得できるように自主訓練の回 数を増やしてはいかがかがか。	災害時に利用者、職員が安全に避難できる よう、定期的な訓練を実施する。	国や町からの指導に基づき、自主訓練を3か 月に一回程度実施する。	6ヶ月
4	43	利用者の排泄パターンを明確にし、快適な状態 を支援するために、個別のチェック表を活用し、 時間や支援内容を記録してはいかがかがか。	排尿パターンを把握して、尊厳ある排泄行 動を構築していく。	排尿パターン、リズム、行動、動作をチーム で把握して、快適な排泄を介助できるようにする。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。